



豊かな子

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



「先生終わりだね」「消えろ」暴言に暴力も…子どもから教職員への暴力行為が“増加”

KKT 熊本県民テレビ Yahoo News 2/9より

学校での暴力行為の実態です。熊本市教育委員会は、子どもから教職員への暴力行為が増えていると明らかにしました。学校現場で何が起きているのでしょうか。10日開かれた、熊本市総合教育会議。学校や教育現場の現状や様々な課題について議論を交わしました。教育委員会が明らかにしたのが、学校での「暴力行為の実態」です。熊本市の大西一史市長が「子どもの暴力がこんなにエスカレートしているのか」と嘆くほどで、児童や生徒から教員への暴力行為の発生件数が増加し、心身の負担を感じる教員が増えているといいます。

遠藤洋路教育長は、「**小学校の暴力、特に低学年の暴力がとも増えています。感情がコントロールできなくて、暴れるみたいな、そういうのが年々深刻になっている**」と話します。

熊本市内の小中学校に通う子どもの暴力行為の件数は、2024年度が869件で小学校、中学校ともに年々増えています。中でも、小学校での児童から教員への暴力は、中学校よりもはるかに多い175件で前年度の倍以上となっています。

大西市長は、「今忙しい学校現場で全て(対応を)先生たちでやってしまうというのは、ちょっとやっぱり難しいと思うので、仕組みはやっぱりいま必要だと話を伺って思いました」と話しました。

以下は、熊本市内で実際に起きたケースです。**子どもから教員への暴力や暴言**です。

- ▽暴力①：小学3年の男子児童が教室で落ち着かなくなったのを担任に止められた際、黒板消しを何度も投げられ、担任は抵抗せずに受け続けた。
- ▽暴力②：小学3年の女子児童が教室で迷惑行為を起こし、担任が声をかけると、足をわざと踏んだり、腕をつかんだり、物を投げたりした。
- ▽暴言①：言葉の暴力もあり、小学4年の男子児童は、教室で暴れたことを教員が保護者に告げたことを知り、「お母さんが教育委員会に言うって言っていた」「先生終わりだね。死ね」と暴言を吐きました。
- ▽暴言②：小学2年の男子児童は、「死ね」「消えろ」「いなくなれ」と何度も言って、担任は精神的に追い詰められたといいます。

長崎県においても、児童の暴力・暴言は増加傾向にあります。**コミュニケーション力不足、ストレスの増大、発達上の特性**等、暴力行為に及ぶ要因は個によって異なりますが、「自分の気持ちを言葉で伝え、相手を思いやることができる力を育むこと」を最終目標に定め、家庭や専門機関と連携して、課題解決に向かいます。「困った子は、困っている子」、保護者と協力して、解決を図っていきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

(「児童の暴力に関する対応指針」諫早小)



2月の振り返り



生活目標 寒さに負けず自分の力で体を鍛えよう

- 手洗いうがいをしっかりやろう
- 窓の開閉を心がけよう
- ポケットに手を入れないで歩こう
- 体づくりに取り組もう

保健目標 外で元気に遊ぼう

図書館目標 100冊めざそうチャレンジ

給食目標 自分の健康を知ろう

- 市内各地で、インフルエンザBが流行する中、諫小では最小限の流行で済みました。みんなの**感染予防習慣**の賜物だと思っています。
- 寒さ厳しい2月でしたが、朝の登校後や昼休みに、外で元気に運動する子の姿が、例年以上に多く見られました。**寒さに負けない体作り**が進んだようです。
- ズボンや上着のポケットに手を突っ込んで歩く子は、ほとんど見られなくなりました。**安全性**の確保の意味がしっかり理解できたようです。

3月

給食目標

一年間の給食を振り返ろう

図書館目標

一年間の読書生活を振り返ろう

保健目標

自分の成長を確かめよう

生活目標

一年間の自分の成長に
気づき、大好きな自分へ
感謝の言葉が
言えるようになろう
使った後はきれいに返そう

- 3月は、「まとめ」と「ふりかえり」の月。自分の成長を確かめ、**大好き自分の心**を膨らませましょう。
- 1年間お世話になった教室、机、ロッカー等、**感謝の気持ち**をもって、ピカピカにきれいにしましょう。
- 登下校を見守ってくださった民生員さん、交通指導員さん、地域の方々にも**感謝の気持ち**を伝えたいですね。

3月行事予定

3日(火)	言葉の教室修了式	24日(火)	修了式・離任式
12日(木)	卒業式総練習		※給食はありません
17日(火)	卒業証書授与式	25日~4月7日	春休み
	※給食はありません	4月8日(水)	令和8年度始業式
			※給食はありません

ミラノ・コルティナオリンピック

スノーボード、スキージャンプ、フィギュアスケート、カーリング、etc 世界中からアスリートが結集し、技や力を競い合ったオリンピックも終わりました。日本人選手の結果に一喜一憂するだけじゃなく、選手がもつ向上心、忍耐力、意志の強さ等を、子ども達は感じ取ってくれたでしょうか。「目標を持って努力する営みが、人にとっていかに価値のあることか。」たくましく、自分らしく生きるということ。

